

## 入園を希望された保護者の皆様 進級される保護者の皆様

当園は1992年、稲城の多摩ニュータウン開発の一部として住宅が建設され、稲城にある保育園・地域と密接したいとの願いを込めて、地域の名をとり「城山保育園」と名付け開園しました。

保育園の周りには城山公園を始め、ひつじさん公園・稲城中央公園など自然豊かな場所が多くあり、気軽に散歩に出かけ触れることができるほか、小学校、公民館などの施設も集まり、安心して過ごすことができる環境となっております。そして、子どもたちが過ごす保育園は、遊び、学び、生活の場です。恵まれた環境の中で自然と親しむ体験保育を行い、豊かな心と身体をはぐくむとともに、多様な体験を通して子どもたちの人間形成の基礎となる生きる力の土台を培っていきたいと考えています。

保護者の皆様とともに、力を合わせて、日に日に成長する子どもたちの明るい未来の基礎づくりができれば幸いです。

園長 川村 恵美

### 『城山の保育』と入園に際してご理解いただきたいこと（重要説明事項）

稲城青葉会では、恵まれた自然環境の中で自然と親しむ体験保育を行っています。自然環境の中での体験で子ども達の人格形成の基礎となる生きる力の土台を養っていきたいと考えています。当法人では、下記のようなことを大切に保育を進めて参ります。

#### 自分で考える力を

自然そのものが「遊び道具」になります。「遊びたい」という思いがあれば、子どもはどう使って遊ぶか考えていきます。大人が思いつかない遊びが始まるかもしれません。使い方が決まっていない自然のものだからこそ、自由に考えたり、工夫したりできると思いませんか。発想を膨らますことが生きていくなかで大切な力を育てることにもなります。

#### 自然や命の大切さ

命の大切さを知ることは、生きていく上でとても大切なことです。生きているからこそ命があり、いつかは終わりを迎えます。毎日の散歩中に見る花があるとします。「芽が出てきたね」「綺麗な花が咲いたね」と話していても冬を迎えるころには、花は枯れてしまいます。枯れた花を見て、とても悲しく感じる子どももいるかもしれません。「命には限りがある」ということを知ることで、感性が豊かな子どもになるともいわれています。「今この瞬間を大切にしないと、二度と同じ瞬間はやってこない」ということを、自然の中ではたくさん実感することができます。「生きているとはどういうことか」ということも自然と感ずることができるのではないのでしょうか。

#### 自然の中で遊んで健康に

自然の中で遊ぶときは、走り回ったり、木登りをしたりと、いつも以上に体を思い切り動かします。知らないうちに、子どもの基本的な身体能力を使います。自然の中だからこそ失敗を恐れることなくチャレンジすることもできます。五感をフルに働かせる遊びは健康そのものともいえます。

#### 子どもが主役・大人は見守る

子どもの成長に欠かせないことが「遊ぶこと」です。毎日の遊びのなかで、さまざまな経験ができます。大人が遊びを教えるのもよいのですが、子ども自身が「身近にあるものを使って



どう遊ぶか」や「どういうルールで遊ぶか」など考えることが大切です。

自然の中で遊ぶときには危険が伴うこともあります。子どもは遊ぶことに夢中になってしまい

がちです。しかし何でもかんでも「危ないよ」「ダメだよ」と注意するのではなく、大きな怪我をしそうなどときなど、大人の助けが必要なときに、しっかり手を差し伸べてあげられるように見守るといいのではないのでしょうか。

### ご理解いただきたいこと

保育参加や送迎などの時に子ども達の様子をご覧になったり、保育園のことで何かご心配・ご不明な点がありましたら、気兼ねなく職員までお知らせください。

園生活の子ども達の様子の中で、その時の子どもの姿だけを捉えて（生活の一部を切り取って）他の保護者に話をしたり、SNS等で誤解や不安を招いたり、子どもの未完成な部分の話だけでご判断されたりすることのないようお願いいたします。

子どもの社会性が育つためには、けんかやトラブルが大切な経験だということをご理解ください。

尚、保護者の方で著しく当園の保育の妨げになるような行為があったり、他の園児や保護者に強い不安を与えるような言動が見られた場合には、園にて話し合いをもち相互理解を図りますが、ご理解いただけなかったり、言動に改善が認められなかったりする場合は、第三者委員を交えての話し合い、市への報告を行い、協議をさせていただきます。

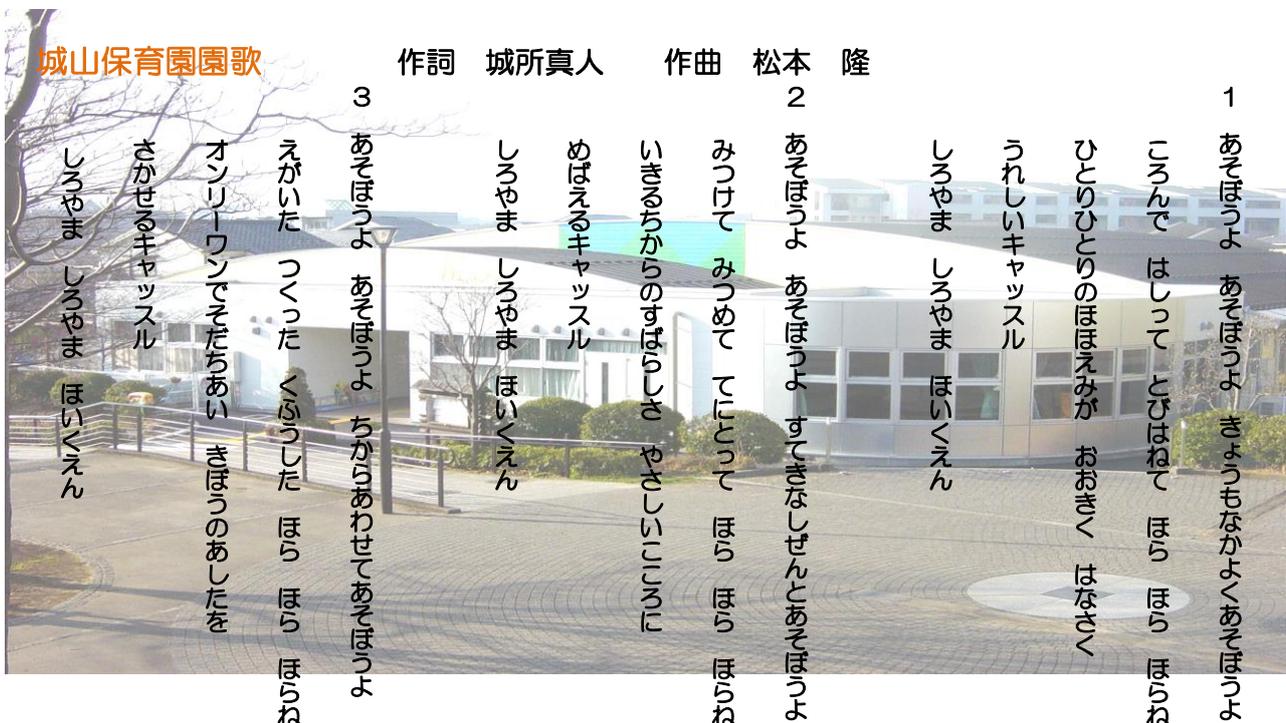
### 保育中の怪我について

当園では子ども達の主体的な活動を大切にしています。園生活に慣れてくると、友だちとの関わりも活発になり怪我をしてしまうことがあります。当園は厚生労働省の定める基準や法令を遵守し、大きな事故にならないように配慮しています。また、定期的な安全点検や園内で起こった怪我等の原因を元に立てた対策や配慮を職員で共有し、安全な環境で安心して思う存分活動してもらえよう様々な配慮をしていますが、子ども達が怪我をしないように考えてばかりでは主体的な活動は出来ません。子ども達が大きくなった時に大きな怪我につながらないようにするには、沢山の遊びや経験の中で小さな怪我をしながら自分で危険を察知したり回避する（リスクをコントロールする）力を身につけていくことが大切だということをご理解ください。

なお、保育中や送迎中に怪我をした場合は、応急手当をした後病院にて治療を受け、翌日以降、集団生活が可能になるまで、誠に申し訳ありませんが保護者の付き添いで通院と休園をお願いします。

既往症や特別な配慮を必要とする場合は健康状況調査票に記入してください。

特別な配慮を必要なお子様（食物アレルギー・個別支援が必要）は医師の診断書等の提出をお願いすることがありますが、保育を進めるにあたり必要なものですので提出期限内に提出をお願いします。



**城山保育園園歌** 作詞 城所真人 作曲 松本 隆

1 あそびじや あそびじや きらきらなかなんかあそびじや  
じやんたて はじってとびはねて ほら ほら ほらね  
ひよりひよりのほほえみが おおまへ はなれへ  
うれしいキャッスル  
じやま じやま ほらほら

2 あそびじや あそびじや すくきなこせとあそびじや  
みつけて みつけて じやんたて ほら ほらほらね  
いもむかひのすはらこせ やれこじやんたて  
めばえるキャッスル  
じやま じやま ほらほら

3 あそびじや あそびじや ちかひあはれあそびじや  
えがいた つくった くらした ほら ほらほらね  
オンラインでそだちあひ きぼうのあしたを  
さかせるキャッスル  
じやま じやま ほらほら

## 目次

挨拶	1	⑬ 乳幼児突然死症候群	46
稲城青葉会の入園に際して		⑭ 病児・病後児保育とは	47
ご理解いただきたいこと	2		
園歌	2		
		<b>4. 家庭との連携</b>	
<b>1. 施設概要</b>		① 保育時間	49
① 園施設の概略	4	② 園からのお知らせ	50
② 園舎見取り図	6	③ プライバシーを守るために	51
		④ 連絡帳	53
<b>2. 保育の内容</b>		⑤ お支払方法は？	54
① 保育の理念	7	⑥ このような研修を受けています	54
② 保育の目標	9	⑦ ご意見・ご要望を受け付けています	55
幼児期に育て欲しい姿	11		
③ 保育の特徴	13	<b>5. 準備物の案内</b>	
④ 保育園の1年	15	① 園生活に必要なもの	56
⑤ 子どもたちの1日	18	② ピクニック・遠足について	60
⑥ 園庭遊具	19	③ ご用意していただくもののサイズ	61
⑦ 登降園について	21	④ こんな衣類がおすすめです	62
⑧ 食事と離乳食	25		
		<b>6. 防災と安全管理</b>	
<b>3. 保健と健康管理</b>		① 災害発生等における保育園の対策	63
① 登園前の体調チェック	35	② お子さんを災害から守るために	65
② こんな時はお休みしましょう	37	③ お子さんの安全を守るために	66
③ 病気とケガ等で病院受診する際に			
確認していただきたいこと	38	<b>7. 子育て支援</b>	
④ 体調不良でお休みする時の園への		① このような取り組みを行なっています	69
連絡について	38		
⑤ こんな時は保護者の方に連絡		<b>8. 資料</b>	
いたします	38	① 子育て支援制度をご存知ですか	70
⑥ 予防接種について	38	② 児童憲章	70
⑦ 感染症の登園基準	39	③ 虐待とは	71
⑧ ケガについて	41	④ 使っていますね！チャイルドシート	72
⑨ 薬について	42	⑤ ファミリーサポートセンターとは	73
⑩ 持病とアレルギーについて	42	⑥ 休日保育事業とは	74
⑪ 便・吐物・血液の対応について	43	⑦ 年末保育事業とは	74
⑫ 病院・相談機関	44	⑧ 書類提出について	75

\*この「園のしおり」は城山保育園運営規程に基づき作成しています。全文に関しては、玄関回覧物に入れていますのでご覧ください。

